

林家たい平さん ～東秩父村をみんなの「心のふるさと」に～

東秩父村観光大使に再委嘱



東秩父村観光大使としてご尽力いただいていた落語家：林家たい平さんが2年の任期を終え、更に2年の観光大使として村の発展にお力添えをいただけることになりました。2月8日（水）に委嘱式を行い、村長と対談に応じていただきました。その様子・会話内容を一部ご紹介します。



足立村長（以下村長）…縁があり東秩父村観光大使を2年間務めていただきありがとうございます。更に2年、お受けいただけると、感謝いたします。意気込みをお聞かせください。林家たい平さん（以下たい平さん）…「秩父生まれのたい平です」とほくは皆さんによく言うのですが、観光大使になる前に何度か東秩父村へおじゃましましたことがあって。一番初めの印象は、「ほくの秩父の隣の村」でした。観光大使にしてもらってから『第二のふるさと』ができた」、「ほくの秩父が大きくなった」と思い、嬉しかったで

す。秩父市と東秩父村どちらも「ほくのふるさと」になりましたね。また、「細川紙」という文化の象徴がある村であり、誇りに思っています。これからもこの大きな縁を大切に、どんどん縁を育てていきたいと思っています。

村長…たい平さんが観光大使になられてから人気長寿番組「笑点」を毎週欠かさず見えています。東秩父の宣伝をしていただけたこともありましたね。また「東秩父村」のことをふれてくれますか？

たい平さん…いっぱい紹介していきたくは思いますが、いつだと言ったらその時しか見てくれないなってしまうから言いません（笑）いつかは必ず言いますので、それを楽しんで観てください。また、「笑点」に限らず、これからも機会があれば宣伝していきますのでご期待ください。

村長…東秩父村の人口が3000人を下回りました。しかし、人の縁などが「濃くなった」と私は考えるのです。たい平さん

はどう思われますか？何かお考えがあれば教えてください。

たい平さん…人口が少なくなっただからと言ってマイナスイメージはひとつもないとほくは思います。少なくなればこそ、より豊かになるということがあると考えるのです。ゆったりとした時間が流れる村。都会の風に疲れた人を温かく迎えてくれる、そんな村であってほしいですね。村民の皆さんが全員、村を愛しているのがひしひしと伝わってきます。『今』をすごく楽しんでる人がたくさんいる「魅力ある村」です。いつまでも村でいてほしいですね。

村長…たい平さんのおっしゃるように「ふるさと」と

思う心を大切に、私も村政に取組んでいきたいと考えます。では最後に村民の皆さんに向けて何でもいいのです。メッセージをいただけますか？

たい平さん…東秩父村は「心のふるさと」とほくも思いますが村民の皆さんもそう思っていて温かさを忘れないでください。ほくは「ふるさと」をこれからも応援していきます！また、機会があれば村民の皆さんに、笑顔を届けに行きたいと思っています。その時はよろしくお願いしますね。

